

関東

関東の景況は、設備投資が持ち直しているものの、個人消費、住宅建築が弱含むなど、**回復の動きが一服**。

個人消費は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から、百貨店販売で高額商品を中心に減少したほか、乗用車販売も減少するなど、持ち直しの動きが鈍化。

住宅建築は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から、持家が減少するなど、やや弱含む。**設備投資**は、製造業、非製造業ともに投資計画を積み増す動きがみられるなど、緩やかな持ち直し。**公共工事**は、国、独立行政法人等が増加するなど、回復に向けた動き。**輸出**は、鉄鋼、石油製品が増加したものの、科学光学機器が減少し、横這い圏内の動き。

生産活動は、情報通信機械、電子部品・デバイスが増加したものの、鉄鋼、化学が減少し、足許一服。

- ・鉄鋼は、生産水準が低下（千葉）。金属製品は生産水準が上昇（東京）。
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（茨城、千葉、神奈川）、低下（栃木、埼玉、東京）。フラットパネル・ディスプレイ製造装置が減産、半導体製造装置、マシンングセンタが増産（神奈川）。
- ・電気機械は、生産水準が上昇（神奈川）、低下（茨城、栃木、群馬）。
- ・情報通信機械は、生産水準が上昇（栃木、群馬、神奈川）。デジタル伝送装置、パーソナルコンピュータが増産（神奈川）。
- ・電子部品・デバイスは、生産水準が上昇（群馬、千葉、神奈川）、低下（東京）。
- ・輸送機械は、生産水準が上昇（茨城、栃木、群馬）、低下（埼玉、千葉、神奈川）。
- ・窯業・土石製品は、生産水準が低下（茨城）。
- ・パルプ・紙・紙加工品は、生産水準が上昇（栃木）。
- ・化学は、生産水準が低下（栃木、千葉、東京）。
- ・洋装品は、生産が前年並み、和装品は、主力の浴衣用帯地の受注がほぼ前年並み（群馬）。
- ・食料品は、生産水準が横這い（栃木）、低下（千葉）。

観光は、ホテルの客室稼働率が高水準を維持するなど、上向き。

- ・4月のベイエリアホテルの客室稼働率は、高水準を維持（千葉）。
- ・3月の県内主要温泉地宿泊客数は、伊香保、水上は増加したものの、草津が減少し、全体では2か月連続で前年比減少（群馬）。
- ・3月の県内ホテルの客室稼働率は、横浜は前年比低下、箱根は上昇（神奈川）。
- ・2月のゴルフ利用客は、大雪の影響から、前年比減少（栃木）。

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、製造業、建設業で新規求人数が増加するなど、持ち直し。

先行きは、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、一時的に弱含むとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢
								